



北岳撤退記

2023年7月12日(水)～13日(木)

Report by 堀

当初の予定では7月13日(木)からの計画でしたが、13日宿泊予定の白根御池小屋が満室で一日前倒して実施することになりました。

参加者は吉松さんと池戸さん、堀の3名でした。

熊本さんからは、天候の安定する7月下旬の方がいいのではないかとのアドヴァイスをいただきましたが“それではキタダケソウの花期が終わってしまう”と敢えてこの時季にしたのですが、やはり雨に祟られ遭えなく撤退することになりました。

ほとんど何の花も無く、登頂も無く同行してくれた吉松さん、池戸さんには申し訳ない結果となってしまいました。

これでは Report する内容もこれと言ってありませんが、まあ、“こんなこともある”ということで記録を残しておきます。

7月12日(水) 曇夕方から雨



八王子からあずさ1号。雲は多く、富士山などは見えないがそれほど悪い天気ではない。甲府駅に定刻8:27着。

バスの時間(9:05)までには余裕充分。高尾発の各停でも問題ないのだが、広河原行のバスは混んでいて2時間近く立って行くのは大変ということで先着する特急を利用。



バス停で同じ列車に乗っていた池戸さんとも無事に合流。

バスの切符を売る車掌さんはお釣りを持っていない。釣り銭が溜まるまで切符が買えない。

“山梨交通、しっかりしろよ！”
そして、案の定、後から並んだ人は立っている。



乗車1時間、芦安のバス停を過ぎた途端にバスがストップ！すぐには分からなかったが、目の前の橋（御勅使川の西河原橋）の先でトラックとバイクが接触して、避けようとしたトラックが横転、林道を塞いでいるとのこと。



「開通がいつのなるかは分からない」ということ、芦安バス停で待機となってしまった。

現場の様子を見に行ってみると消防車や救急車は到着していて、その先にトラックが横倒しになっているの見える。トラックは横転しているので、単にレッカーするわけにはいかない。クレーン車はどこから来るのだろう？

甲府駅回りから来るなら、それだけで1時間は掛かるだろう。それから撤去作業にどれほどかかるのか？





11:10 すでに 1 時間以上が経過。まだ撤去作業は始まらない。広河原からの歩きの途中で昼食を摂る予定だったが、昼食休憩が惜しいので、ここで待機している間に昼食を摂ることにする。

このころ、クレーン車が 2 台到着するが、トラックの車輪がガードレールに食い込んでいて、すぐには吊り上げられないとの情報が…



昼食後にはバス停近くに喫茶風のお店があったのでここで待機する。

12 時過ぎになってバスの乗員が「間もなく 12:20 頃に撤去作業が終わる見込みなのでその後出発します」と伝えに来た。我々と同じくこのお店で休憩しながら昼食中だったご夫婦らしき二人は大慌てだった。

それから更に 30 分 (12:35 頃) ようやく運行再開となった。



広河原インフォメーションセンターで登山届を出して出発写真。計画より3時間近い遅れである。



御勅使川（みだいがわ）に架かる橋を渡ってようやく登山開始となる。



橋を渡ると間もなく、大樺沢を遡行して二俣に至るルートと白根御池山荘に至るルートの分岐に差し掛かるが、大樺沢ルートは橋が流失して通行止めとなっている。



途中、御池小屋に事故で到着がかなり遅れる旨連絡を入れる。小屋の方もすでに事故のことは承知していた。



このルートは、2008年7月に青木さん、吉松さん、堀で歩いているが、これほど急登だったとは・・・やはり15年前は昔ということだ。



先ほどから雷鳴がしていたが、17時を廻ったところでとうとう降り出した。急登は終わり、小屋も近いので傘で間に合わせる。僅か30分ほどであったが、結構濡れてしまった。



収容5人ほどの部屋であったが、我々3人だけ。濡れ物を広げて乾かす。



夕食は少し後に延ばしてもらって、まずはビールで乾杯！



持参の日本酒も空けてしまってから夕食。
明日は北岳から間ノ岳を往復する予定だが、今日の稜線は飛ばされそうな強風だったとのこと。明日はそれに雨が加わることを考えると、行けても北岳山荘までということになりそうだ。
明日の朝食は、計画では弁当を用意して貰う予定であったが、早立ちする意味が無くなり5時から朝食ということで意見が一致。
消灯時間の8時には灯りが消えてしまい、そのまま就寝。

7月13日（木）雨のち曇



4時過ぎに起床。かなりの雨が降っている。
朝食時に北岳山荘に電話を入れ様子を聞く。
「御池小屋はかなりの雨ですが、そちらの様子はどうですか」
「昨日は相当な風だったが、今は雨風ともそれほどでもない」
「今日も強風の予報だし、安全を考えてこのまま下山しようと思う」

「キャンセルするならキャンセル料がかかります。」

「天候が悪いので下山するのに当日キャンセルだと100%というのは・・・」

「登って来られる方もいますから・・・」

「そりゃあ、若い人なら行くかもしれないが、こちらは後期高齢者3人だし、まんいち遭難とかいうことになったら・・・下山します。」

そこで通話が切れてしまった。

少し時間をおいて再度かけ直すと先ほどの人が出て「分かりました。キャンセルを受けます」



6時過ぎ、雨支度をして、小屋前で写真を撮って下山開始。
昨日登った道を今日は雨の中を下山。林間の下山路は薄暗いし、写真を撮るところもまたその余裕も無い。
雨だけでなく雷鳴もする。



広河原の近くまで下ると雨はほぼ上がったが、これまでの雨で川は濁り、急流が流れ下っている。



御勅使川に架かる橋を渡り、広河原のインフォメーションセンターへ。



9:10 インフォメーションセンター着。ここで計画を変更して下山したことを申告。バスは広河原発 10:00 なので、濡れた雨具の始末をする。



甲府駅に am11:55 着。
まずは風呂が先だと甲府駅北口からタクシーで喜久乃湯（温泉銭湯）に行く。
熊本さんお気に入りの銭湯とのこと。私（堀）は、ここは初めて。前は近くの「高砂湯」だった。どちらも温泉です。
湯船が3つで、脱衣所、番台、昭和レトロな看板などがあって面白い。

入浴後は一杯やりながら昼食にしたいと駅まで歩きながら店を探すが、北口にはそもそもほとんどお店が無い。結局、駅に着いてしまい、駅ビルの中の和風のお店で、チョイ飲みセットのようなメニューで一杯やる。



14:55 特急あずさ 34 号で八王子へ
八王子着 15:48

まったく、残念な山行であった。吉松さん、池戸さん、お疲れ様でした。

Report も面白い話の一つとて無く、たぶん“石井さんでもお手上げ”でしょう。

帰宅後、北岳山荘のキャンセル料を予約センターに確認したが、全額返金になるとのこと。当然ながら、まあよかった。